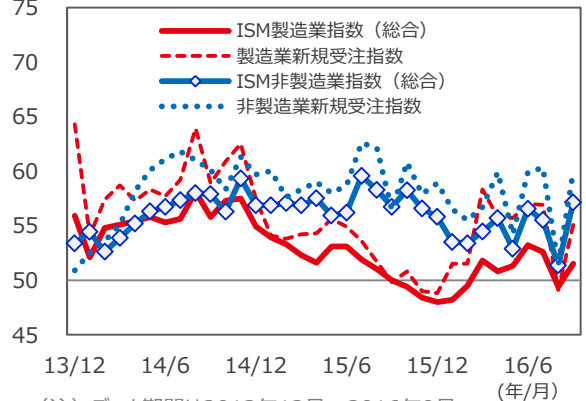


今日のトピック 上向いた米国のISM景況感指数（2016年9月） 景気・雇用の順調な拡大を示唆

ポイント1 製造業指数は50台を回復 グローバルに上向き生産活動

- 米国経済の先行指標として知られるISM製造業景況感指数は2016年9月に、総合指数が51.5となりました。8月は49.4と50を割り込みましたが、一時的な下振れだったと考えられます。
- 内容も良好で、総合指数を構成する5指標のうち4指標が上昇しました。なかでも新規受注指数や生産指数など、需要の動向を示す指標の上昇が目立ちました。東南アジア諸国連合（ASEAN）や日本の生産活動も堅調で、製造業の活動はグローバルに上向きつつあると判断されます。

(ポイント) 【ISM景況感指数】



(注) データ期間は2013年12月～2016年9月。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

ポイント2 非製造業指数は大幅上昇 拡大のペースが再加速

- 一方、非製造業景況感指数は7月の55.5から8月の51.4への低下を経て、9月は57.1となりました。8月の非製造業指数の大幅な鈍化も、製造業と同様に一時的なものと考えられます。
- 内容も製造業指数と同じく事業活動指数や新規受注指数といった需要動向を示す指数が改善したほか、雇用指数が大幅に上昇したのが注目されます。

【ISM景況感指数】 (ポイント)

	製造業		非製造業		
	9月	前月比	9月	前月比	
総合	51.5	+2.1	総合	57.1	+5.7
新規受注	55.1	+6.0	事業活動	60.3	+8.5
生産	52.8	+3.2	新規受注	60.0	+8.6
雇用	49.7	+1.4	雇用	57.2	+6.5
入荷遅延	50.3	▲0.6	入荷遅延	51.0	▲0.5
在庫	49.5	+0.5	在庫	51.5	+3.5

(注) 総合指数は、製造業が上記の5つの構成指数の平均、非製造業が上記のうち在庫指数を除く4つの構成指数の平均。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 株価は景気拡大を織り込む展開が見込まれる

- 9月のISM指数は、米景気の拡大基調に変化のないことを示唆するものです。雇用指数から判断する限り、8月の非農業雇用者数の下振れも一時的なものに止まる公算が大きいと考えられます。これから見て、米連邦準備制度理事会（FRB）は近い将来、利上げに踏み切ると予想されます。
- ただし、物価上昇率がFRBの目標である+2%を下回っていることから、今後の利上げのペースは極めて緩慢なものになると予想されます。従って、長期金利は低い水準で安定した動きとなり、株価は景気・企業収益の拡大を織り込む展開になる見通しです。

ここもチェック! 2016年9月23日 米国の金融政策（2016年9月）
2016年9月15日 低下した米国の「自然利子率」（米国）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。